

般若心経は三つの法則を説いているの 完結編

般若心経の

智慧に到達する内観法

般若心経の完結編!!

著者

行秘

もくじ

はじめに	一
この本について	一
般若心経最後の決断・内觀法に通ずる	六
中庸・中道とは	八
第三者の目とは	十一
八正道とは瞑想・生活の基本	十二
①、正見	十五
②、正思惟	
③、正語	
	十六

④、正業

⑤、正命

⑥、正精進

十七

⑦、正念

⑧、正定

十八

八正道で、やつてはいけない事

三十一

八正道を正しく行つていれば

三十四

内観法について

二十六

内観とは

二十七

内観法の実践

二十九

内観の方法	三十
例題	三十一
自分から見て反省すべき人	三十四
内観のコツ	三十六
内観法を終了してもいい時	四十
第三者の目になつていなゝ	四十二
六大神通力とは	四十四
超能力者になれる近道	五十一
最後の悟りとは	五十五
あとがき	五十八

はじめに

『般若心経は、三つの法則を説いている!!』開始編
が存在しているからこそ、『般若心経の智慧に到達する内觀法!!』完結編が存在した。

表記されている内容は、私が、平成九年から、私の
守護靈が、枕元に立ち、色々な事を四年間ぐらい、教

えて下さつたものを、私なりに、構成したものです。

摩訶般若波羅蜜多心經は、大宇宙の法則を説いた
書であり、親恩なる深い尊い智慧に到達できる為の

方法が記載された書物である事は、間違いありません。

『般若心經は、三つの法則を説いている!!』開始編は、

羯諦羯諦　波羅羯諦　波羅僧羯諦　菩提薩婆訶

の解釈を、お彼岸に行つて、観なさいと説く。

お彼岸とは昼と夜の長さが同じになる日であり、昼と
夜が同じになるという事は、中庸・中道になりなさい
いと、言つてゐるのである。

つまり、親恩なる深い尊い智慧に到達するには、自分
の心は、中庸・中道になりなさい。と言つてゐるの

だ。

つまり、冒頭に帰れば、自分の在りのままの自分を、
観た菩薩は、自分の心・考え方を中庸・中道に常に
保ち、自分の在りのままの、物事を判断して、中庸・
中道なる心で、反省しなさい。と終わっている。

智慧に到達しようと思つた人は、概念を捨てて、何事

にも恐怖心を捨てて、チャレンジして、良い結果を樂んで
しんで欲しい。

【この本について】

ほん

『般若心経は三つの法則を説いている!!』開始編と

『般若心経の智慧に到達する内觀法!!』完結編は、二

冊揃つて理解していないと、親恩なる深い尊い智慧に到達出来ません。

本完結編では、親恩なる深い尊い智慧に到達する為

に、やるべき事を解説しています。

こと
かいせつ

